

「荒川の鉱山誌」発掘プロジェクト 学 習 見 学 会

(無人ヘリコプターによる空撮)

本年度から「荒川の鉱山誌」発掘プロジェクトを計画し、3つの段階を踏みながら、荒川地区を鉱山歴史地域として整備する計画です。

まず始めに、産業遺産価値の高い荒川鉱山選鉱場跡を映像等で復元するため、遺跡の復元調査及び成果公開を視野に、来る4月22日(水)3次元画像測量のため無人ヘリコプターを飛ばして、この様子を公開します。

荒川鉱山選鉱場遺構と測量概要の説明も交えながら、多くの皆さんに理解を深めてもらう機会とします。



UAV (マルチローター型ラジコン無人ヘリコプター)
通称 ドローン



荒川鉱山の選鉱場設備の遺構

選鉱場遺構の産業遺産価値は？

現在、荒川鉱山跡には、製錬工程で排出したスラグを原料とする「カラム煉瓦」を用いた選鉱場の基礎と沈殿池(シックナー)が残っています。これらの遺構は、明治40年(1907年)から大正13年(1924年)に建設された、約100年前の近代産業遺産です。当初、本選鉱場は旧式の比重選鉱法を用いていたことから、多量の水流が必要なため、落差が約40mもある巨大な遺構(幅約50m)となっており、当時の鉱山技術を物語っています。

■ 開催日時 平成 27 年 4 月 22 日 (水) 13 時

■ 開催場所 秋田県大仙市協和荒川(大盛館、旧マインロード荒川)

■ 日 程

13:00

受付 (大盛館)

13:30~14:00

大仙市長によるプロジェクト概要の説明(大盛館)
秋田大学山本副学長から挨拶

(移動)

14:15~14:30

選鉱場遺構と測量概要の説明
(旧マインロード荒川管理棟内)

14:30~

空撮開始 (実演中に説明あり、質疑・応答、約1時間の見学)

15:30

閉会

**雨天及び強風の場合、測量は中止します。見学者には室内で説明します

「大盛館」までの道程

JR 秋田駅から奥羽本線經由 羽後境駅まで30分（羽後境駅から車で15分）

車 秋田自動車道經由 協和I.C.から大盛館まで20分



周辺地図



問い合わせ先：秋田大学地域創生課 高橋 TEL 018-889-2547
FAX 018-889-3162
E-mail shakoken@jimu.akita-u.ac.jp